

板倉勝重 江戸幕府創設期の京都所司代を務め、在任20年間に事務の遅滞は一件もなく、「大岡政談」の手本に。

いたくらかつしげ

・ ・ ・ ・ ・ 1545 = 三河国額田郡で、戦国武将板倉好重の次男に生まれ、

ザビエル来日1549 = 4歳 :

継嗣でなかったため、幼時に出家して玉庵和尚の弟子となり、

・ ・ ・ ・ ・ 1554 = **9歳** :

香誉宗哲と称して、三河国碧海郡の永安寺に住していたが、

大村純忠受洗1563 = **18歳** :

織田信長入京1568 = 23歳 :

三方原の戦い・1572 = **27歳** :

室町幕府滅亡1573 = 28歳 :

バリエーノ謁見 1581 = **36歳** : 父好重・弟定重が相次ぎ戦死、兄忠重は松平好景の家臣となっていたため、**家康の命で還俗し家を継ぐ。**
本能寺の変・1582 = 37歳 :

秀吉太政大臣1586 = 41歳 : ***徳川家康が駿府に居を移したとき、駿府町奉行となり、**

秀吉全国統一1590 = **45歳** : ***家康の関東転封に際しては、駿府での業績を買われ江戸町奉行となり、関東代官を兼ねた。**

前田利家没・1599 = **54歳** :

関ヶ原の戦い・1600 = 55歳 :

朱印船制始・1601 = 56歳 : ***京都所司代となり、**

阿国歌舞伎始1603 = 58歳 : 家康が征夷大將軍に就任すると同時に、従五位下伊賀守に叙任された。

大坂の陣までは、畿内における対豊臣氏政策の中心として重要な役割を果たすとともに、

家康駿府退隱1607 = 62歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1608 = **63歳** :

島津琉球支配1609 = 64歳 : 宮中での密通事件裁許に際し、朝廷への幕権拡大に努めた。山城・近江において9860石を加増され、1万6600石の大名となった。

朝廷・公家・西国諸大名の監視および支配強化に努め、以心崇伝とともに公家・寺社統制にあたった。

徳川家康没・1616 = 71歳 :

吉原遊郭始・1617 = **72歳** :

支倉常長帰国1620 = 75歳 : ***所司代の職を辞し、**

伊予断交・1624 = 79歳 : 京都堀川の邸に**没した。**

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、